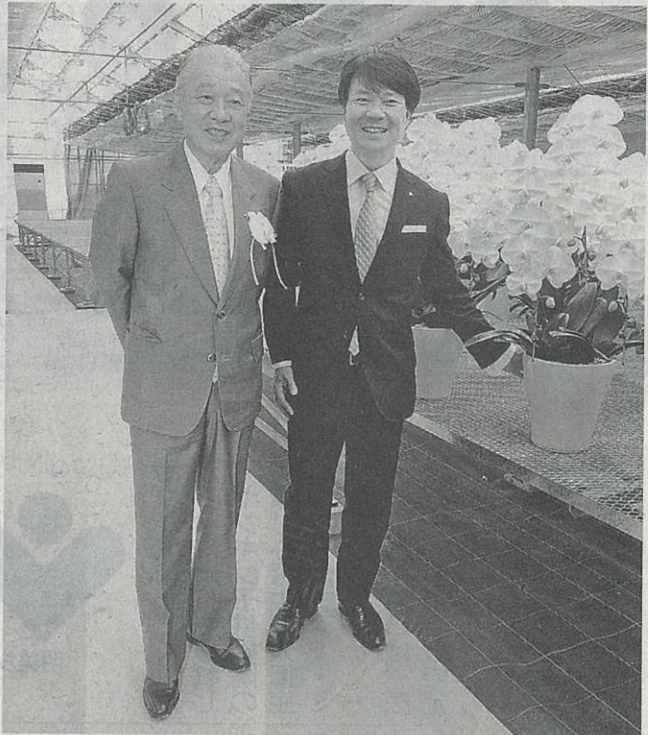


コチヨウランで 障害者自立支援

NPO法人が富津に温室開設



ガーデンお披露目会で笑顔をみせるNPO法人AionAionの那部智史理事長(右)と日本財団の笹川陽平会長(左) 一富津市西大和田(牧山紘子撮影)

月額10万円 収入確保へ

同ガーデンは、コチヨウラン栽培をする障害者20人を雇用する予定で、年間4300万円の売上高を見込んでいる。敷地面積は693平方メートルで、最大約2万本のコチヨウラン栽培が可能。

同ガーデンは、障害者就労支援に取り組む日本財団「はたらくNIPPON!計画」プロジェクトの一環で、建設費6千万円のうち3800万円を日本財団からの助成でまかなった。

同法人の那部智史理事長(48)は「新しいお花の買い方を提案している。全国にいる知的障害者の方々に仕事を与えていただければと思う」としている。

オーナーの募集はインターネットですでに始まっている。9月21日現在で、230人から402万円が集まった。

今後、温室で働く障害者を20人公募する予定。知的障害者は栽培方法を学んだスタッフから育て方を教わる。温度や水やりなどは、コンピューターに管理される。問い合わせは同法人☎0470・62・6215。

コチヨウラン栽培で知的障害者

に働く場所を提供しようと、NPO

法人AionAion(アロン

アロン、いすみ市)は、富津市西

大和田に温室「AionAion

オーキッドガーデン」を開設し

た。働く障害者に工賃として月額

10万円の収入確保を目標とし、経

済的な自立を目指すという。

同法人によると、同ガーデンで

はコチヨウランの苗のオーナーを

募集。台湾の農園から苗を1本千

円で仕入れ、障害者が約半年かけ

て丹精込めて開花させ出荷する。

オーナーが10本1万円円で苗を購

入した場合、1本を1万円相当の

アレンジメントフラワーにしてオ

ーナーに届け、残りを企業に販売

し、その収益が障害者の取り分と

なる仕組み。

同法人は、日本初のビジネスモ

デルだとしており、「障害者の生

活を支えているという共感を広げ

たい」としている。